



VOL.58 autumn
2010年9月30日



編集/釜石市総務企画部少子化対策・男女共同参画推進室

〒026-0024 釜石市大町 3-8-3 青葉ビル

TEL ; 0193-22-5121 FAX ; 0193-22-6002

URL ; <http://www.city.kamaishi.iwate.jp/>

E-mail ; Syousi@city.kamaishi.iwate.jp

◎ 特集

「高齢男女の自立と共生のために」

◎ さんかくニュース

我が国の第3次男女共同参画基本計画策定に当たっての考え方
釜石市男女共同参画まちづくり市民大学開講日程決まる！
「少子化対策・男女共同参画推進室主催行事」ほか

高齢男女の自立と共生のために

釜石市においては、市民の3人に1人が65歳以上の高齢者であり、その6割近くを占めるのが女性となっています。特に、85歳以上では女性が実に7割以上を占めております。9月20日は敬老の日でしたが、今回は、高齢男女をめぐる問題について特集します。

（高齢男女の就業と社会参画）

高齢者の就業は、とすれば定年後も継続就業する男性のイメージを持ちますが、実は働きたいと考える女性の高齢者も少なくありません。総務省「就業構造基本調査」（平成19年）によると、65～69歳の女性の3割強が就業意欲を持っております。そのうちの無業者については「収入を得る必要」を挙げる割合は男性よりも高くなっています。

しかし、女性は男性に比べ、就業中断などで就業経験の蓄積や能力開発が不十分であるため、就業希望が実現されにくい現状にあります。

（高齢期の経済的自立につなげるための制度や環境）

女性パートタイム労働者の約2割が、税制や社会保障制度における被扶養者としての優遇措置を受けるために年収や労働時間を「調整している」と回答しています。配偶者控除や第3号被保険者制度などは、女性の就業調整や非労働力化を促し、女性自身の経済的自立を阻害してきた側面があります。その結果、被扶養の女性については、世帯に守られているうちは経済的に安定していますが、離婚等で世帯から離れると再就職等も困難で経済的に厳しい状況になりやすくなります。

（家庭・地域における支え合いの下での生活自立）

高齢単身者の男性は、地域における孤立が深刻化しています。内閣府「高齢男女の自立した生活に関する調査」（平成20年）によると、話し相手や相談相手がいる者の割合が、女性単身者では88.5%ですが、男性単身者は72.7%と、男性の方が低くなっていることから窺われます。

高齢単身世帯が多い社会では、地域の支え合いの下で孤立を防ぎ、病気・災害時の支援や日常生活の手助けが得られるような地域社会づくりが重要となるので、単身高齢者の自宅生活をサポートする生活支援体制の整備等に取り組む必要があります。

また、高齢女性は、寿命が長い一人暮らしになりやすく、認知症になる割合も高いことから、消費者被害も男性に比べてより多く受けやすい傾向にあります。成年後見制度における女性後見人の育成や消費者被害防止相談窓口における女性相談員の配置の充実等、高齢女性を消費者被害等から守るための対策を効果的に進める必要があります。

（性差に配慮した医療・介護）

疾患の罹患状況や要介護になった原因には男女間で違いがみられます。例えば、男性については肝疾患や悪性新生物が、女性については認知症や関節性疾患等の罹患率が高い傾向があります。このような男女の違いに配慮した医療・介護予防への取り組みを進めることは効果的であり、個人へのニーズの対応と言う観点からも望ましいことです。

また、介護を必要とする高齢者は、女性が男性の約2.6倍となっています。女性は長寿ゆえに一人暮らしになる可能性が高い等の理由により、高齢女性の介護は重要な課題であると考えられます。

他方、介護の担い手としての女性を取り巻く状況を見ると、家族内の主な介護者の7割は女性であり、老老介護の負担の深刻さも指摘されています。また、ホームヘルパー等の介護労働者も約8割が女性で、その賃金等の低さも指摘されており、介護は、受け手、担

い手の双方の観点で、女性にとって重要なテーマであるといえます。

（釜石市の取り組み）

釜石市は、平成21年3月「釜石市男女共同参画推進プラン」を策定しておりますが、安心して暮らせる環境づくりを基本目標の一つに位置づけて、高齢者が自立して生活するための支援を行っています。今年度の取り組みは、次のとおりです。

| 施策の方向 | 具体的な施策 | 主な事業 | 平成22年度計画 | 担当課 | |
|------------------------|------------------|--|--|--|------------|
| (1) 生涯にわたる心と身体の健康づくり | ①生涯にわたる健康の保持増進 | ・健康教室・講座 | 生活習慣病予防に関する知識の普及 | 健康推進課 | |
| | | ・健康相談 | 生活習慣病に関する相談の機会とする。 | 地域づくり推進室（生活応援センター） | |
| | | ・健康診査・保健指導及びガン検診 | 胃がん検診、大腸がん検診、喀痰検査、肝炎ウィルス検査、前立腺がん検査 | 健康推進課 | |
| | | ・家庭訪問 | 健康に関して問題がある家庭に訪問して保健指導を実施する。 | 健康推進課 | |
| | | ・介護予防事業 | 第一号被保険者を対象とし、要介護状態になることを予防し、要介護状態等になった場合には軽減し悪化を防止することを目的とした事業（地域支援事業）を展開。 〈主な事業〉 1 運動器の機能向上事業 2 栄養改善事業 3 口腔器の機能向上事業 | 高齢介護福祉課 地域包括支援センター | |
| | ・健康づくりに関する公民館事業 | 各公民館（生活応援センター）において、健康で安心して暮らせるまちづくりのあり方について話し合い、地域の目標、課題に対する共通認識を高めるとともに、提案された意見等を踏まえ、公民館が行う具体的な事業に係る実施計画を策定し、事業展開を図る。 | 各公民館（生涯学習スポーツ課） | | |
| | ②性と生殖に関する健康と権利 | ・乳がん・子宮がん検診事業 | 乳がん検診（視触診、乳房X線検査）、子宮がん検診（子宮頸部の細胞検査） | 健康推進課 | |
| (2) 高齢者が自立して生活を送るための支援 | ①生活安定に向けた取り組みの推進 | ・雇用安定事業に基づく各種助成金の周知 | 各種助成制度の周知を図る。 | 商工労政課 | |
| | | ・地域支え合い推進事業（22年度新規事業） | 独居高齢者等の孤独死対策として、地域の支え合いを推進するため、支え合いの意識を高める取り組みを行うほか、地域福祉計画の策定に向けた調査を実施する。 | 地域福祉課 | |
| | | ・高齢者に対する福祉サービス | 高齢者や高齢者を抱える家族等に対し、健康的で安全な在宅生活の継続を図ることを目標に、次の事業を展開する。 1 緊急通報体制等整備事業 2 外出支援サービス事業 3 高齢者等配食サービス | 高齢介護福祉課 | |
| | | ・高齢者世帯の市営住宅入居選考優遇措置 | 抽選時にあらかじめ加点して優遇 | 都市計画課 | |
| | | ・住宅バリアフリー化等海舟工事助成事業 | バリアフリー化を含むリフォーム工事を行う場合、工事費の一部を助成することにより居住環境の充実・商工業等の振興を図る。 | 都市計画課 | |
| | | ・保健、福祉、日常生活に関する相談 | 各生活応援センターごと、各種事業を実施。 | 生活応援センター | |
| | | ②地域交流による生きがいつくりの支援 | ・介護予防に関する活動を行う地域住民団体への支援 | 介護予防等に資する活動を行おうとする町内会・老人クラブなどの地域住民グループに対し活動の育成・支援を図ることを目的とした地域住民グループ支援事業を実施する。 | 地域包括支援センター |
| | | ・生きがいつくりに関する公民館事業 | 各公民館（生活応援センター）において、高齢者の生活上の諸問題や地域社会の密着した課題などを学習し、自らの生きがいつくりと地域における実践活動に役立てるため、各地区で特色のある高齢者対象の生涯学習事業を開催する。 | 生涯学習スポーツ課（公民館） | |



⑨ ～ 第3次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方（答申）

国では、平成22年7月23日に、男女共同参画会議が開催され、内閣総理大臣に対し、「第3次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方」が答申されたことを受けて、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策を総合的・計画的に推進するため、男女共同参画社会基本法に基づき、平成22年中に第3次男女共同参画基本計画を策定する予定です。

⑩ ～ 釜石市男女共同参画まちづくり市民大学開講日程決まる！

釜石市では、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会を実現するため、「釜石市男女共同参画推進プラン」を策定し、このプランに基づき、「釜石市男女共同参画まちづくり市民大学」を実施しております。今年度の講座内容が決まりましたので、お知らせします。

第1回講座 平成22年11月13日（土）13：30～15：30 青葉ビル研修室

テーマ：人権に関すること

講師：盛岡家庭裁判所遠野支部長 笹本哲朗氏

第2回講座 平成22年12月4日（土）10：00～11：30 釜石市教育センター5階

テーマ：現代日本文化をめぐるジェンダースタディーズ

講師：立正大学文学部講師 生方智子氏

第3回講座 平成23年1月15日（土）13：30～15：30 青葉ビル研修室

テーマ：仕事と生活の調和～自分らしい時間を手に入れるために～

講師：岩手県男女共同参画センター職員 晴山玲美氏

受講申込方法など詳しいことは、市少子化対策・男女共同参画推進室までお問い合わせください。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

INFORMATION

市少子化対策・男女共同参画推進室の10月から12月の行事

- 10月8日（金）全国男女共同参画宣言都市サミット in おおふなと
- 11月7日（日）未来子育て応援フェスティバル「あつまれえがお」
釜石市民文化会館中ホール・青葉ビル
- 11月9日（火）思春期講演会 大平中学校
- 11月13日（土）釜石市男女共同参画まちづくり市民大学
第1回講座 青葉ビル
- 11月15日（月）思春期講演会 唐丹中学校
- 11月22日（月）くろがね・ぎやざりんぐ・ぷれーす懇談会第2回
コミュニケーション能力講座 青葉ビル
- 12月4日（土）釜石市男女共同参画まちづくり市民大学
第2回講座 釜石市教育センター

情報・アイデア 募集中！！

市少子化対策・男女共同参画推進室では、**れています・ねっとわーく**掲載用の情報・アイデアを随時募集しています。

【お問い合わせ】

市少子化対策・男女共同参画推進室

TEL:0193-22-5121

FAX:0193-22-6002

E-mail ↓↓↓

Syousi@city.kamaishi.iwate.jp

件名に“れています・ねっとわーく宛”
とご記入ください。



記録的な暑さの続いた夏でしたが、朝夕めっきり涼しくなった今日この頃です。暑さで体力を消耗してしまい、夏バテの後遺症で免疫力が弱まったままだと、感染症にかかりやすくなるとか。秋の果物や野菜は体力の回復にとてもよいのだそうです。だから「食欲の秋」は、自然の摂理なんだと納得してしまいました。秋は行事も多く、がんばるぞ！（K. I）

青葉ビルでは、毎日いろいろな「笑顔」に出会います。子ども、お母さん、先生方、利用者や職員……いろいろな方と接します。

自然な笑顔が一番ですが、作った笑顔でも無表情よりは印象が良くなります。人間関係の中で笑顔は大事ですね。周りの方々を見ながら、今更ながら、自分も努めて笑顔でいようと思うこの頃です。（A. H）